



# 2014年も大変お世話になりました！ ジュニアユースの基本活動 たくさんの活動の中、ほんの一部を紹介…。

ジュニアユースの活動は、毎年進化しています。それは、毎回のミーティングの中で、選手達自身が提案し、改善し、取り組んできたもので、徐々に伝統になりつつあると感じます。現在、特に重視しているのが、「挨拶」「整理整頓」「練習に取り組む姿勢」です。



ねばり強く取り組んだ結果、最近はかなり洗練されてきました。「挨拶」一つにしても、時と場合を考えたり、笑顔やアイコンタクト、おじぎの仕方やその深さ、握手や会釈を上手に使ったり…と、こだわればきりが無い取り組みですが、必然的にプレーにも良い影響を与えています。今後も本気でやり切ろう！



## 熱血青木コーチが思うこと…。

こんにちは！熱血・青木コーチです！  
コーチは小学校3年生から現在までサッカーを続けています。今まで色々なことがありました。今回は、コーチの中学生時代の出来事を紹介します。  
中学2年生の頃、部活の中継体に出場しました。そして部大会の決勝戦。前半は0-0でほぼ互角の戦いでした。ところが後半になりすぐ先制されてしまいました。その時にベンチで応援していた先輩たちの諦めず必死で応援する姿が印象的でした。コーチはその姿に心がざれ、「絶対に俺が取り返してやる」と心に決めました。ただ残念ながら、試合に出場していた先輩達の様子を見ると、あきらめムード…。チーム全体が徐々にやる気をなくしてしまい、結果は3-0の惨敗でした。

大会の後、コーチと同学年の仲間と『自分達の時はどんな状況でも諦めず全員で最後まで戦い抜こう』と誓い合いました。そして自分たちの年代の中継体でも決勝戦。1年前の悔しさを、これまで積み重ねた想いを全てぶつけました。その思いが通じたのが、後半残り5~10分頃にコーチが相手側ペナルティエリア付近でファールを受け、フリーキックをもらいました。そしてそのフリーキックはコーチが蹴ることになりました。緊張の一瞬です…。顔を3~4回ほど叩き、一度落ち着いてから、想いをこめ、左上隅を狙い蹴りました。



そしたらなんと、ボールが狙い通りの方向に向かい、ゴールネットを揺らしました。会場は大歓声。その後、みんなで必死に守りきり、結果は1-0で勝利し、優勝を勝ち取ることができました。優勝できたのは、チームの仲間全員が強い志を持って戦ったからだと確信しています。

アバンツァーレのみんなには悔しい気持ちや上手くないかなんかがあるときこそ諦めないで、仲間と強い志を持ち、サッカーに取り組んでほしいと思っています！



### 青木瑞季(21歳)の名言。

「後悔はするな！」  
「反省はしろ！」

<青木瑞季コーチ プロフィール>  
★1993年8月12日 生まれ  
★血液型O型 しし座  
★身長: 166センチ ★体重: 66キロ  
★趣味: バイク  
★苦手なもの: 昆虫のカマキリ

<ジュニアユースの基本方針>  
『夢中になれるチーム活動を、選手とコーチで共に作り上げる』『良い習慣を身につける活動を共に考える』『自分だけではない、共に勝つ!』そして、以下の活動が具体的な取り組みの一部です。あくまで『やらされてやるものではない』ということが重要。『自分の成長の為』『良い習慣』を獲得する活動です。もちろん、コーチからも、ねばり強く指導、アドバイスしていきます。

- 1. 自主学習。**  
1日90分以上。必ず机に向かう。もちろんプラスアルファもOK!
- 2. 自主トレーニング。**  
1日60分以上。コーチからのアドバイはあるが、自ら創意工夫を重ね取り組む。
- 3. コーチへの毎日の報告。**  
メールで毎日の活動をコーチに報告する。コーチとの信頼関係の中、『良い習慣』を身につけていく取り組み。
- 4. チーム学習。**  
チームで学習する時間とミーティングの時間を定期的に設ける。『教える』『教わる』環境をもち、モチベーションを維持する。チームの団結力を育む場ともなっている。
- 5. サッカーノート。**  
ノート2冊を用いたコーチとの交換日記。あくまで自分の成長の為、自分を省みるツールです。

# アバンがわらばんジュニアユース

2015年1月号

## 「ジュニアユースがわらばん」前書き。

「ジュニアユースがわらばん」も敬えること6回目になります。コーチの希望としては、この「ジュニアユースがわらばん」をカラーでみて欲しい! ホームページで閲覧できるで、ぜひ一度はアクセスしてください。読み応えのあるよう、文章は多め。子ども達の成長のヒントになるような、大人も楽しめるような、充実した内容のクラブ会報誌を目指します!

## 名取二中さんとの合同練習。



## 遠征先で感動したお話…。

11月3日(月/祝)仙台FCと、なぜかわざわざ山形県の庄内で交流試合。よりによってその日は、みぞれ混じり土砂降り。サッカーの試合というより、ガマン比べ状態でした。試合の合間に、アバン中2の門馬くんが、グラウンドの脇でタッシュを繰り返していたところ、仙台FCの選手が、彼と一緒にタッシュをし始めました。その時、コーチは審判をしていて、その様子を遠巻きに見ていたのですが、何とも気になっちゃったがありませんでした。「友達なのかな」とも思ったのですが、門馬くんは聞くと「初めて会った」とのこと。あまりに気になったので、試合後、その選手に理由を聞きに行きました。こたえは「彼が苦しそうだったから、応援したくて」「あと自分を追い込むためにです」とのこと。いっぺんに彼のファンになりました。今後、仙台FCの10番に注目です!



## ある選手のサッカーノート。

ジュニアユースの重要な取り組み、「サッカーノート」の中には、様々な悩みや喜び、彼らの想いがつまっています。今年度もあと3カ月。来年度のジュニアユース説明会に、たくさんの選手が期待と不安を膨らませやってきました。以下は、去年の年度始めに書かれたある選手のサッカーノートです。ジュニアユース入りたての初々しい気持ち。揺れ動く中学生の想いがよくあらわれた文章です。

### ＜サッカーノート＞

4月27日(日) 「アバンに入るといことは」  
僕はクラブチームに入るとい経験が一回もない。中学一年生になって僕はアバンツァーレのジュニアユースに入ることを決意した。だが、アバンツァーレに入ることに少し不安もいれていた。「これまで一緒にやってきた少年団の仲間にはなげまおう？」僕はこう思っていた。僕は、なかなかアバンに行くことをハッキリ言い出せないで、中途半端な形でできてしまい、少し学校では仲間から遠ざかっている気がする。これに関しては僕が悪いと思っている。なぜハッキリ伝えなかったのか。僕は逃げたのだと思う。これまで少年団の練習で、何度もゴシヨゴシヨ話など見かけていた。僕はキャプテンとして止めにかけられなかった。何か言われるのが怖かったからだと思う。だから今回もこのようなことから逃げてしまった。僕は情けない。キャプテンとして責任をはたせなかったことが。逃げてしまったことが。アバンに入ると、しっかり伝えずに、逃げるように姿を消したのだから仲間から遠ざかるのもおかしくはない。でも僕はアバンが好きだ。アバンの仲間と一緒にプレーがしたい。僕はアバンに入って後悔はしていない。ただ、逃げた自分に後悔はしているのだ。アバンに入るといことは、アバンのみんなと遊んで、しゃべったりすることではない。サッカーが上手になりたいから入るんだ。アバンに入るといことは、もともと違うチームに所属していたのだから、はじめを分けなければいけない。僕がしっかりはじめをつけてから、正式にアバンの選手にして下さい。なので、はじめをつけるまではアバンの選手コースとしてはまだだ。けど、アバンの試合があるまで。それまでにははじめをつけ、このアバンツァーレでサッカーを上手くなり、将来に向かって頑張っていく。

## コーチ、久しぶりに沖縄に帰る。

源晴コーチの出身地を知っていますか？実は常夏の島、沖縄県名護市です。実は12月のはじめに、3日間だけ帰省しました。仙台はその頃かなりの寒さでマイナスの世界。なんと沖縄は…、気温22度!!半袖でもOKでした。コーチは、高校生の18歳まで沖縄だったので、あまり観光地に行ったことがありませんでした。今回は、ガイドがつくような観光地も満喫。内地(沖縄の人は他県のことを内地と呼ぶ)の人間に混じって、地元人間がです。ガイドさんからのクイズを一人だけ全問正解してしまいました。

**パワースポットにも!**

思えば、沖縄にいた期間よりも「内地」に住んでいる期間の方が長くなっています。正直、今回の旅は、沖縄の人の「いいかげんさ」にカルチャーショックの連続でした。ところで、初日にお笑い芸人の「長州小力」とさんとお会いしました。その様子は、次回のかわらばんで報告できれば…。なんと小力さんは、サッカー少年だったとのこと。

**沖縄民謡を聴きながら。****どこでもやっぱり…サッカーに夢中!**

※一応(笑) 沖縄のサッカー事情も調査しました。学ぶ点も、アバンの良さの再確認もできました。

## リフティング研究部発足。

**部長・川部くん**

アバンジュニアユース・ニュース! チーム内に「リフティング研究部」発足しました。思いつきから生まれたこの部活動。とにかく「リフティング」を研究しまくります。入部は自由ですが、やるからにはとにかくやります。初代部長は、川部空輝くん(中2)です。彼はすでにかなりの技術を有していますが、ボールコントロールの可能性は無限大。日々、研究を怠りません。  
＜部長の言葉＞  
自分の目標は「世界1属(かなり難しい大技です)の3回連続」です。楽しみながら、誰よりも上手くなり、みんなを引っ張っていきます。同時に「フィジカル強化クラブ」と「蹴球(受験)対策委員会」も発足予定。活動内容は随時報告致します!!

**日々鍛錬!**

## ジュニアOBの絵はがき



以前、ジュニアのかわらばんで紹介した、ある選手の絵はがきがあります。あれはコーチ宛でしたが、その選手は、チームメイトにも絵はがきを送っていました。あの夏、コーチが彼らに出した指示。それは、コーチ生活の中、今まで最高の指示だったと思います。「どちらの鞠にも、君達は親友になるといい」

**いつまでも親友。いつか同じピッチで**

### ＜絵はがきの内容＞

拓実、ぼく達の夏は暑くなる前にあつという間に終わってしまったけど、今はどんな気持ちで毎日サッカーしてる?あんなに練習したのに、最後の試合は一点も取れずに負けてしまったね。三年前、拓実とは同じ時期にチームに入ったのに、学校が違ったり、最初は全話話さなかったよね。でも拓実、ぼくが遠征でご飯が食べられなくて一人だけ残った時「次はこれを食べよう」とか「いいぞ、もう少しで全部食べられるぞ」って最後まで付き合ってくれて、初めて完食できた時はすごく嬉しくて、お腹は満腹で重かったけど「やったー!」って飛び上がるくらいあの時は嬉しかったんだ。それから、一緒にゴトをした時は皆大笑いしてたよね。拓実、三年間本当にありがとう。中学は別々のチームになるかもしれないけど、お互い強くなって必ずまた一緒にプレーしよう!約束だ!! 聖より

## ジュニアユース選手・テクニカル会員参加型企画!

### 1対1アバン選手権を途中報告!

「1対1」の強化のため始まったこの企画。試行錯誤した末、ルールも決まり、データも出てきました。ルールは1分間の時間制限がある1対1。勝率で年間のランキングを決めます。チャンピオンには豪華プレゼント贈呈決定!

- ★ 現在1位: 須藤勇司(中3) 勝率: 90.2%
- ★ 現在2位: 鶴岡 響(中3) 勝率: 71.4%
- ★ 現在3位: 川部空輝(中2) 勝率: 63.5%



## Jrユースかわらばんのお知らせ

★ジュニアユースの事に限らず、サッカーに関する疑問や悩みを遠慮なくご相談下さい。ジュニアの子であっても、今から将来を見据えた取り組みをはじめめるべきです。何か助言できる事もあるかと思います。また、かわらばんに取り上げて欲しいことも、ドシドシ提案して下さい! 待っています!

★ジュニアユース第3回説明会が行われます。  
今年は過去最多人数の参加者が! しかもなかなかおもしろい選手が集まりそうです…。今回で最後の説明会となります。

- ・日程: 1月25日(日)
- 説明会: 17:00~18:00頃 練習会: 18:00~20:00
- ・アバン室内練習場の指導室で説明会。その後、練習会を行います。
- ・申込、詳しいお問い合わせは、大兼久まで

